１０番街の殺人（1971）

10 RILLINGTON PLACE

メディア 映画
ジャンル サスペンス　犯罪
製作国 イギリス
時間 106分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

あまり一貫した作品傾向はないと思われているＲ・フライシャーだが、（猟奇）犯罪サスペンスの切り口でみれば、しっかりと系統立てて撮っていることが分かる。本作もその一編である。原題のリリントン・プレイス１０番に住む元警官のクリスティーは退職して、自分のアパートに間借り人を置き、悠々自適の生活を送っているように見えた。が、最近越してきた若夫婦の奥方に向ける視線は、妙にねちっこい……。イギリス的陰湿さをすっかり自分のものにして、それでいて直球勝負は捨てない、天才職人監督Ｒ・フライシャーの後を引くホラー。でも、今や良心的大監督アッテンボローの、かつての役の選ばなさ加減はＭ・ケイン以上か？

【クレジット】

監督	リチャード・フライシャー	Richard Fleischer
製作	レスリー・リンダー	Leslie Linder
	マーティン・ランソホフ	Martin Ransohoff
原作	ルドヴィック・ケネディ	Ludovic Kennedy
脚本	クライヴ・エクストン	Clive Exton
撮影	デニス・Ｎ・クープ	Denys N. Coop
音楽	ジョン・ダンクワース	John Dankworth
出演	リチャード・アッテンボロー	Richard Attenborough
	ジョン・ハート	John Hurt
	ジュディ・ギーソン	Judy Geeson
	パット・ヘイウッド	Pat Heywood
	イソベル・ブラック	Isobel Black
	ミス・ライリー	Miss Riley
	フィリス・マクマーン	Phyllis MacMahon
	レイ・バロン	Ray Barron
	ダグラス・ブラックウェル	Douglas Blackwell
	アンドレ・モレル	Andre Morell

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.